

間違ったインスタンスオプションを選択した後に使用されたセキュアアクセスサブスクリプションの要求コード

内容

お問い合わせ内容

Security Cloud Control(SCC)でSecure Accessサブスクリプションのクレーム申請を行う際、クレーム申請プロセスでAttach existing instanceの代わりにCreate new instanceを選択すると、クレームコードが使用されます。この処理により、Umbrellaからセキュアアクセスへの移行に不可欠なUmbrellaダッシュボードのUpgrade Managerへのアクセスが妨げられます。その結果、元の要求コードが既に使用され、正しい添付プロセスに使用できなくなったため、アップグレードプロセスを再開または続行できません。

環境

- Cisco Umbrella組織
- Cisco Secure Accessサブスクリプション
- Security Cloud Control(SCC)ダッシュボード
- セキュアなアクセスへの移行を必要とする既存の包括テナント

解決策

この問題を解決するには、誤って作成されたセキュアアクセスインスタンスを非アクティブ化してサブスクリプションを再利用し、適切な添付プロセスを続行できるようにします。

手順1：誤って作成されたインスタンスを特定する

Security Cloud Control(SCC)インターフェイスに移動し、Attach existing instanceではなく、Create new instanceが選択された際に作成された、新しく作成されたSecure Accessインスタンスを見つけます。

手順2：サブスクリプションUIを使用してインスタンスを非アクティブ化する

Security Cloud Controlプラットフォームで、サブスクリプション管理インターフェイスにアクセスし、新しく作成されたインスタンスの横にある3つのドットメニューを使用して、インスタンスを非アクティブにします。この操作により、サブスクリプションが回収され、正しい添付プロセスで使用できるようになります。

SCCインターフェイスでPlatform Management > Subscriptionsの順に移動し、サブスクリプション管理オプションにアクセスします。

ステップ3：サブスクリプションの請求プロセスを再開する

誤って作成されたインスタンスを非アクティブ化した後、サブスクリプション要求プロセスを再起動し、Create new instanceの代わりにAttach existing instanceを選択して、既存のUmbrellaテナントにSecure Accessサブスクリプションを適切にアタッチします。

ステップ4:Upgrade Managerへのアクセス権の確認

サブスクリプションが既存のインスタンスに正しくアタッチされたら、Umbrellaダッシュボードにアップグレードマネージャが表示され、Umbrellaからセキュアアクセスへの移行プロセスの続行が許可されていることを確認します。

原因

この問題は、Security Cloud ControlでのSecure Accessサブスクリプション要求プロセスで、ユーザがAttach existing instanceではなくCreate new instanceを選択した場合に発生します。この誤った選択により、サブスクリプションを既存のUmbrellaテナントに関連付けるのではなく、新しいSecure Accessインスタンスを作成することで、クレームコードが消費されます。このようにクレームコードが消費されると、システムは同じコードの再利用を防止し、移行プロセスに必要なUpgrade Managerへのアクセスをブロックします。

関連コンテンツ

- [製品インスタンスの非アクティブ化](#)
- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。